

# Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリークラブ

1993~1994年度クラブ目標 “出会いを大切にしよう……例会で、みんなが、待っている”

## 第138回 例会報告 (8/18)

司会者SAA 戸田 昭寿



◇点鐘 会長 横倉 舜三

◇ロータリング「奉仕の理想」  
ソングリーダー SAA 菊地 敏

◇お客様紹介  
八巻 明彦様 会長 横倉 舜三  
西尾 正誼様 (報知新聞PR室長)  
北川 隆男様 (東京多摩RC)  
( " )

### ◆会務報告 会長 横倉 舜三

先週は例会がお休みでしたので、久しぶりのような気がします。お休みしたのは、皆さんのところでも大事なお客様が見えますと仕事を休んでも接待すると思いますが、それと同じで恩を受けた大事な先祖様が年に1度帰って来ることからお休みとなったのです。

それでは会務報告を申し上げます。

①今年は会員増強月間でありますので皆様の推

薦方をよろしくお願い致します。

②9月1日は創立記念例会であります、特別の行事は致しません。但し皆様からの2ヶ月遅れのお中元を戴ければと思っております。

③9月8日のガバナー公式訪問は御手許のパンフレットの通り実施致しますが、会場設営などの準備についてはSAAなどのご協力をよろしくお願い致します。

④多摩ニュータウンの開発に伴い、都の施行によって土地区画整理事業が行われてまいりましたが、この程検地処分が完了し、町名地番の変更があり、9月11日から実施されます。そこで会員の自宅や会社の住所が変更になる方が16~17名になると思いますので、早めに住所変更の届けをお願い致します。

⑤多摩ロータリークラブと多摩らいふ21協会の協賛を得て、9月4日パルテノン多摩で実施されるゴミ問題フォーラムに皆さんのご出席をお願いしたいという要請がありましたのでお知らせ致します。

### ◆幹事報告 幹事 北村 幸彦

①全国会員名簿の件

1993~1994年度全国会員名簿を注文された方は事務局に届いておりますので取りに行ってください。

尚、追加注文を受け付けておりますので是非

追加をお願いしたいとのことです。

(ロータリーの友事務所)

②例会変更および休会のお知らせ

東京西ロータリークラブ

9月17日 ----- 夜間例会

12月31日 ----- 規定による休会

2月25日 ----- 夜間例会

3月 4日 ----- 地区大会に振替

③事務局町名地番変更の通知

・多摩市落合一丁目九番地一

・変更年月日 平成5年9月11日

## 委員会報告

◆ 出席委員会 委員長 遠藤 二郎

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本 日 報 告	48	41	0	7	85.42%
前 回 訂 正	48	40	8	8	100%

出席免除者 3名

欠席届出者

大松 誠二、平野 行廣、中山順一郎

関岡 俊二、高野 範城、若林 滋和

欠席者

奥田 文夫

◆ 親睦委員会

◇誕生日祝 親睦委員 赤尾 恭雄

対象は鶴海さんですが、奥様とお2人誕生日祝と言うことになります。

鶴海さんは入会日と一日違いですが、入会の歓迎の意味も含めて、誕生日祝をさせていただきます。

★★★★★★★★★★

ニコニコ BOX

親睦委員 村上 久

★★★★★★★★★★

西尾正誼様 お久しぶりです。北村さん先日は軽井沢でお世話になり、ありがとうございました。

北川隆男様 お世話になります。

森田 舞子 長男のコンビニが8月17日昨日無事オープンにこぎつけましたので。

村上 久 暑くならないうちにもう秋ですね。

吉尾警太郎 満5年経過の私の車。10万KMを超え、本日現在102,120KMいづれ

20万KMの報告を…。

宮本 誠 駅真正面に皆様のお眼汚しをかかげさせてもらいましたので。

横倉 舜三 卓話に八巻昭彦さんを迎えて。

中山 恒武 バースデイカード有難う御座います。

北村 幸彦 1度休みが入ると楽ですね。

小島周二郎 猪股さん、吉沢さん、お休みの処大変お世話になり有難う御座いました

猪股 末男 夏はまだかいな、でも立秋がすぎたよな一

伊神 稔 久しぶりです。お客様よろこそ

海野 栄一 バースデイカードを有難う御座いました。

戸田 昭寿 南アルプス2954m登頂へ挑戦してきました。岩場では苦戦しましたが充実感でいっぱいでした。

赤尾 恭雄 「久しぶりの例会」と言っても2週間振り。でも、久しぶりの感じですね

佐伯 和廣 夏もおわりですね。

遠藤 二郎 お客様よろこそ、前回の例会で妻の誕生日祝をいただいて。

吉沢 洋景 皆様お久しぶりですね。会報の原稿おこして大変な思いをしました。今までの担当の方のご苦勞がわかりました。

以上 合計 34,000円

◆ ロータリー情報委員会

委員長 赤尾 恭雄

ロータリー豆知識、第7号で出席委員会、親睦委員会の2つについての委員会の内容について記述してありますので、後程よくお読み頂きたい。

それから、お知らせが2つ有ります。

一件は、新会員のロータリー情報セミナーが行われます。9月10日(金曜日)、東京商工会議所の4階で東商ホールで行われます。チャーターメンバーの中でも14名の方が未だこのセミナーに出ておられません。その後の入会が14名ですのでその方には連絡しておりますが、このチャーターメンバーの方にも出席していただきたく至急出席の連絡をお願いします。

これとは別に当クラブで、新会員の方にとロータリー情報懇談会を行うことにしました。9月1日の例会の後、この例会場を使い、約1時間半程度、色々とお話をしたい。特にテーマは設けませ

ん。

疑問とか、判らないことが色々あると思いますので、その点を自由に発表していただき、これにロータリー情報委員がお答えする。もしお答えできないものは、後日調べてお答えしたいと思いません。

この様な形で開催したいと思えます。セミナーという形で年2回程度実施したいと思えますが、その間にはさんで懇談会を開催して情報交換をしていきたいと考えています。

## イニシエーションスピーチ

関岡 俊二

私は昭和17年3月17日東京の麻布で、寺の息子として5人兄弟の末っ子に生まれました。父は福井県大野市の出身、母は東京で育ちましたが仙台市出身です。

寺は曹洞宗の龍沢寺という麻布十番に近い小さな寺です。父は住職をしておりましたが5人の子供を抱えてはとても生活が大変でしたので、東京都の役人をしており、殆ど昼間は寺におらず勤めに出ておりました。私が小さい頃、朝父を迎えに来る運転手付きの外車ナッシュが珍しくてたまりませんでした。その頃の子供達の楽しみは、道を通る米車の名前を覚えて一番にその名前を当てるのが自慢の一つでした。

私の生立ちの中で父についての思い出が二つあります。一つは私が小学校4年生の頃、生き物が好きで鳩や蚕や昆虫等もよく飼いましたが、中でも雑種犬ジョンを自分の弟の様に可愛がっていました。そのジョンがある日犬殺しと呼ばれていた捕獲員に連れ去られてしまいました。その時の私の悲しみを見ていた父が捕獲されたジョンの居所を調べ、私を犬の留置所に連れて行ってくれたのです。何十匹という犬が収容されていました。殆どが雑種犬でした。ジョンがそこに居るかどうかは確かではなかったのですが、私はもう殺されてしまったのではないかという不安の中で懸命にジョンを捜し回りました。幸いにジョンは見つ



りました。やつれた姿でしたが、私と会った時の犬独特の体をくねらせた喜び様は今でも忘れられません。幼い乍ら私はその時ほど父に感謝した気持ちにかられた事を忘れられません。

二つ目は兄の死です。兄は私より12才上で、寺を継ぐ資格もとらずに中学の教師をしておりました。その後障害児教育に打ち込み、日曜祭日も学校に出る多忙な日を過ごしておりました。ところが40才の時膀胱癌に罹り41才で他界してしまいました。その時私は坊主になるつもりがありませんでしたので大学を卒業してからある商社に7年程勤めておりました。後継ぎの兄が亡くなり父の悲しみの姿を見た時、今度は私が父の為にも後を継がなければならないと決心致しました。とは言え僧侶の資格もなし、幼稚園の教員資格もない事実で困り果てました。僧侶の資格は特別に永平寺別院長谷寺で修行をさせてもらい、玉川大学の通信教育に籍を置き、父が念願として開園した多摩みゆき幼稚園の手伝いも、バスの運転、経理、雨漏りの修理などをやりながら夜間スクーリングに通い、レポートを書いて単位を取り漸く幼稚園教諭の資格を取得しました。

妻は私が29才で会社をやめて幼稚園の手伝いをしていた時に保母として勤めていたので知り合い一緒になりました。長男は大学2年、次男は高校1年、長女は小学4年と3人の子供を育て乍ら寺の仕事、幼稚園の主任、そして私を支えてくれたことは並大抵ではないと思えます。私は口では感謝の気持を言う事は出来ない不器用者ですが、本当に有難く思っています。

現在高西寺住職、麻布の龍沢寺住職、幼稚園の園長と三足の草鞋を履き動き回っています。「小人閑居して不善をなす」という諺がありますが、むしろ忙しく動く回っているのが有難い事なのでしょう。曹洞宗を開いた道元禪師は座禅の教えを「只管打座」という言葉で表しています。「座禅」をしたから人間が出来てきたとか、他人より偉くなったとか考えている様では真の座禅とは言えない。「座禅」とはそんな雑念を取り払って「只ひたすらに座るだけ」と教えています。これが出来れば私の好きなゴルフも上達するでしょう。そして今一時を懸命に大切に生きる事が大事であると……。良寛さんは、病気になっても有難

く病氣と付き合ったそうです。人間自分の思い通りになぞ行く筈がないものと思います。多かれ少なかれ回りの人達に支えられて生きていていると思います。

幼稚園も現在は子供の出生率が年々低下し、どの園でも幼児減に悩まされています。園児を少しでも獲得せんが為に、英才教育的な教育方針で親の目を注目させ、一人でも多くの子供を獲得しようと血眼になっている経営者もいる様です。私は、幼児教育は根の教育であるからすぐに表に現われるものではないと思います。「三ツ子の魂百まで」という諺があります。多くの親は三歳迄に早く教え込めば優秀な子供が育つと思って早くから英語を教えたり、掛け算や漢字等も教えなければと焦っている様です。三歳迄に大切な事は、知的な事を教えるのではなく、人間として大切な親の愛情、子供同志の絡み合い、そんな中で子供は大切な心を学んでゆくと思います。わが園は「心と体の健康」を願って、宗教を通した幼児教育を行っています。これからも子供同志の絡み合い、つまり人間同志の交わりから社会で生きて行く為の基本的な人間関係の基礎づくりに役立つ様な教育を心掛けて行きたいと思っています。

最後に、多摩グリーンロータリークラブに入会させて頂き多くの人達との御縁に会え、沢山の方々と接することができる喜びに感謝しております。

臼井 博

1964年10月、東京オリンピックが華々しく開催されました。アベベの優勝、円谷選手の感動の3位入賞、そんな場面が鮮明に脳裏に甦って参ります。世界中の人々が互いに競い、喜び、交流を重ねる姿を見て、当時高校生であった私は国際



的な舞台で働ける仕事に就きたいと強く思い、これがホテルマンになる契機となりました。

群馬県高崎に生まれ、家族は5人です。71年京王プラザ開業年に入社しました。以来宴会、レストラン、バー、フロントなどの営業部門、インターコンチネンタルホテル(サイパン)の海外勤務、企画部門での新規ホテル計画等に携ってまいりました。その中で77年から2年間のインターコンチネンタルでの海外勤務の印象が強く残っております。欧米、中東、東南アジアより世界17ヶ国から各分野のホテルスペシャリストが集まりました。宗教、習慣や文化、人種の違いの中で、自分がこれまで全く体験した事のない別世界があり、異った価値観があることを実感し、一方でグローバルな視野で物事を見る訓練になりました。また他の国々の人から、日本人はFoxyである、表情がない、笑顔がない等の指摘を受け、日本人は愛想の悪い緊張民族なのかと感じさせられました。

Hotelの由来はHospitalです。その原点はHospitalityです。つまり「おもてなしの心」、「奉仕の心」です。お客様一人一人におもてなし(奉仕)を提供するホテルサービスはロータリークラブの基本精神と合致するものと思われれます。

都市ホテルはその街の発展と共に成長し、街の雰囲気や明確に受けとめ、シンボルと言われるております。私共京王プラザホテルは、地域の人々が「ホッとする、暖かさをを感じる」そんなホテルになりたいと思っています。来春、更に150室の客室と婚礼諸施設、及び500名収容の大宴会場を含む8つの宴会場を持つホテル増設を着工致します。

どうぞ今後共よろしくお願い致します。

## 東京多摩グリーンロータリークラブ



会長：横倉 舜三 副委員長：森田 舞子  
幹事：北村 幸彦 委員：海野 栄一・奥木 博勝・吉沢 洋景  
会報委員長：小島 周二郎 小坂 一郎・佐伯 和廣

※例会場 多摩そごうデパート7F サファイヤバンケットルーム

事務局：東京都多摩市落合547  
多摩センタービル7F

TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491

※例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30